

2013-04

**学会通信**

平成 25 年 4 月 10 日

**NO.76**

**工業経営研究学会**  
Association for the Study of  
Industrial Management (Japan)

## 第 28 回全国大会のご案内

第 28 回全国大会準備委員会委員長  
李 捷生 (大阪市立大学)

今年の全国大会は 8 月 30 日から 9 月 1 日までの 3 日間、下記のような要領で大阪市立大学にて開催いたします。

本学会羽石会長の 3 年間の基本方針は「工業経営研究と日本企業の再興」であります。それは、グローバル競争の中で日本の主要産業が構造的な停滞現象を示しているときに、東日本大震災という未曾有の災害に遭遇したことを受け、日本の企業と経済の再興が本学会の挑戦すべき主要課題であることを提示したものであります。昨年度大会は、その初年度として「大災害の時代、工業経営研究は『何ができるのか』・『何をしなければならないのか』」をテーマとして統一論題を設定しました。

本大会では、課題をさらに具体化し、統一論題を「技術立国の再検討と工業経営の課題」と致しました。それは、日本工業の再興のために、「技術立国」日本の過去・現在・未来を再検討して、日本工業がチャレンジすべき課題を具体化することが求められているのではないかとという実行委員会の議論の結果であります。実行委員会では、概ね次のような議論がなされました。

第 1 に、エレクトロニクス産業をはじめとする「技術立国」日本の「崩壊的」現状は、日本経済の将来に不安を抱かせるものであるが、他方で、環境技術(新エネルギー、自然環境保全、資源リサイクルなど)や新素材、ライフサイエンスなどの新技術領域において技術革新が進展しつつあることは、「技術立国」日本の将来に明るい展望を抱かせることも確かである。しかしながら、重要なことは、これらの技術革新が、具体的な生産システムとして企業化され、日本経済の「再興」を担い、雇用を創出し、日本人の生活水準を維持発展させる産業になりうるかどうかである。具体的な事例を含めて、日本の技術や産業の具体的なあり方を検討することが大切である。

第 2 に、グローバル競争の下、安価な労働力を求めて多くの生産企業が新興工業国に製造拠点を移し、それが国内生産の空洞化、雇用の空洞化(雇用の削減、非正規労働化)に拍車をかけているわけであるが、国内の雇用を維持し創出するうえで再確認すべきは、これまで日本経済を支えてきた伝統産業(自動車、電気電子、重化学、軽工業、建築業等)の果たす役割である。これら伝統産業の既存技術の再生によって日本工業の復権を検討することもきわめて大切な課題である。また、世界の生産企業は、イノベーションやサプライチェーン全体を、グローバル・ネットワーク・システムとして展開している。「閉鎖型」といわれる日本企業が、このようなグローバリゼーションのあり方にどのように対応すべきか、世界の先進的事例に学びつつ日本の工業経営の問題点と課題を明らかにすることも日本工業の復権を考える上で重要である。

以上、日本企業の再興には多くの新しい知見や戦略が必要です。上記の問題点以外にも、議論すべき課題は多いと考えます。「技術立国の再検討と工業経営の課題」に関して、さまざまな視点から活発な議論が展開されることを願ってやみません。

工場見学は、既存技術の再生と向上をベースに生産システムの革新に取り組んできた川崎重工・兵庫工場(新幹線・電車・地下鉄車両の製造)を予定しております。

多数の会員の研究報告やご参加を心よりお待ちしております。

- ・大会日程 2013年8月30日(金)～9月1日(日)
  - 8月30日(金) 見学会(川崎重工(株)兵庫工場)、理事会
  - 8月31日(土) 自由論題報告、特別講演、会員総会、懇親会、理事会
  - 9月1日(日) 統一論題報告・シンポジウム、研究分科会、理事会
- ・大会会場 大阪市立大学杉本キャンパス 学術情報センター10F  
(大阪市住吉区杉本3-3-138 JR阪和線杉本町駅、徒歩5分)
- ・統一論題 技術立国の再検討と工業経営の課題

## 第28回全国大会 報告者募集

統一論題と自由論題の報告者を募集します。なお、統一論題については、自薦・他薦を問いません。ふさわしい方をご推薦いただき、様式は問いませんので、事務局までご一報下さい。

- (1) 報告者応募の締め切り 5月31日(金)
  - 応募者多数の場合は大会準備委員会で選考させていただきますので、ご了承下さい。
  - 応募内容・方法(原則として、メールで送付してください)
  - ①報告タイトル
  - ②報告者氏名・所属・会員資格  
(共同報告の場合は報告者すべての氏名・所属・会員資格を明記のこと。なお、発表条件等詳細については学会ホームページにおいて確認ください。)
  - ③報告要旨(400字程度、キーワード5つ、書式は自由)
- (2) 大会予稿集原稿の締め切り 7月15日(月) 必着
- (3) 報告者には、報告依頼文書とともに原稿執筆要領を6月上旬にお送りします。  
 応募先 大阪市立大学大学院経営学研究科 田口直樹研究室  
 〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138 TEL:06-6605-2229  
 E-MAIL: im28th-con-entry@kcn.jp

## 第9期第3回理事会報告

日時:2013年3月22日

場所:常翔学園大阪センター

### 《審議事項》

- (1) 会計年度区分の変更について  
黒澤理事より、「2012年度を2012.1～2013.6に半年延長し、2013年度は2013.7からの1年間とする」案が出され、審議の結果これを承認した。
- (2) 2013年度補正予算  
黒澤理事より、2013年度補正予算案が出され、審議の結果これを承認した。
- (3) 学会誌の刊行形態の変更について(編集規定の見直しを含む)  
黒澤理事より、「A4版、標準フォーマットでの投稿」「年2回発行」に変更する案が出され、審議の結果これを承認した。なお、発行の時期、新編集委員会構成、編集規定の改訂については継続的に審議することとした。
- (4) 広報(学会通信、ホームページ)に関する内規の制定  
地代副会長より、「広報(学会通信、ホームページ)に関する内規を制定したい」旨の提案がなされ、審議の結果これを承認した。なお、具体的な内容については継続的に審議することとした。

(5)若手会員の研究奨励について

林副会長より、「標記の件について具体案を検討する必要がある」旨の提案がなされ、継続的に審議することとした。

《報告事項》

(1) 会員移動（入退会）

事務局から、2012年10月以降の会員異動について報告がなされた。

(2) 2012年度会計の中間報告

黒澤理事より、2012年度会計の中間報告がなされた。

(3) 第28回全国大会（大阪市立大学）の準備状況

地代副会長、坂本理事、中瀬理事より、第28回全国大会の準備状況について報告がなされた。

(4) 会員名簿の発行準備状況

黒澤理事より、会員名簿の準備状況についての報告がなされた。

## 会員移動の報告（2012.12～2013.3）

### 1. 入会者

「正会員」 酒井哲夫（追手門学院大学）、藤井 正男（帝塚山大学）

「院生会員」 升本久幸（同志社大学）、中園宏幸（同志社大学大学院）、徳田美智（広島大学大学院）

## 学会賞・研究奨励賞 候補作品の募集

本学会「内規」第13条（5）の④により、2012年度の学会賞・研究奨励賞候補作品のご推薦を5月末まで（\*）に、林正樹（「学会賞・研究奨励賞」担当副会長）または学会事務局宛に、お知らせください。

（\*）「内規」では、3月までとなっておりますが、今年度は5月末とします。

## 2013年度会費の納入のお願い

本学会の会計年度は「1月～12月」でしたが、会員総会および役員改選の時期とずれており、会計処理に不便を来していました。そのため、昨年8月の総会で会則第17条（会計年度）を「7月に始まり、6月に終わる」と改訂することが承認されました。それに基づき、3月の理事会では2012年の会計年度を「2012年1月に始まり、2013年6月に終わる」に半年延長するが、その間（半年分）の会費は徴収しない、ことに決定しました。

通常、学会には約1年分の会費収入に相当する繰越金がありますので、当面の資金運用には問題は生じない見込みですが、夏から秋にかけては大会の開催や学会誌の発行など、大きな出費を伴う事業があり、会費の納入が遅れると支障を来すこともあり得ます。そこで、今回からは次年度分を前納していただく形をとることで、資金運用の安定化を図りたいと考えております。つきましては、2013年度（2013年7月から2014年6月まで）の会費の振込用紙を同封しますので、前納していただきますようお願いいたします。

工業経営研究学会 学会通信 76 号 (13-04) 2013.4.10

発行人 羽石 寛寿 編集担当 黒澤 敏朗

学会事務局 摂南大学経営学部 黒澤研究室内

〒572-8508 大阪府寝屋川市池田中町 17-8

Tel: 072-839-9174

E-Mail: kurozawa@kjo.setsunan.ac.jp

HP: <http://asimj.jp/>

会員事務 (会費納入、住所管理、学会通信・学会誌の郵送など) 担当

(有) 学協会サポートセンター

〒231-0023 横浜市中区山下町 194-502

Tel: 045-671-1525

E-Mail: scs@gakkyokai.jp